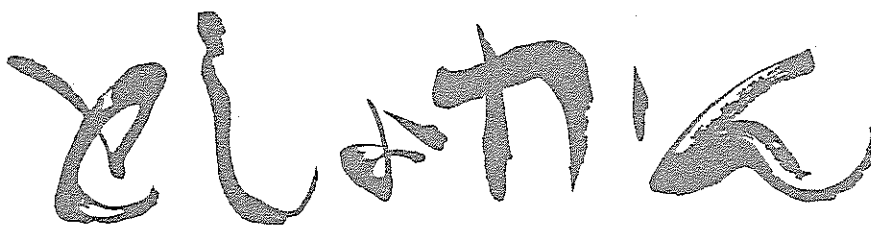


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231



図書館開館10周年

記念事業のお知らせ

昭和56年7月7日の開館以来、10年目を迎える今年の夏から秋にかけて、図書館では記念事業を次のように開催いたします。

◎一日司書

夏休み期間中に、一日司書を行います。

宇都宮市内の小学校5・6年生を対象とし、7月25日から8月8日までの平日6日間に行います。

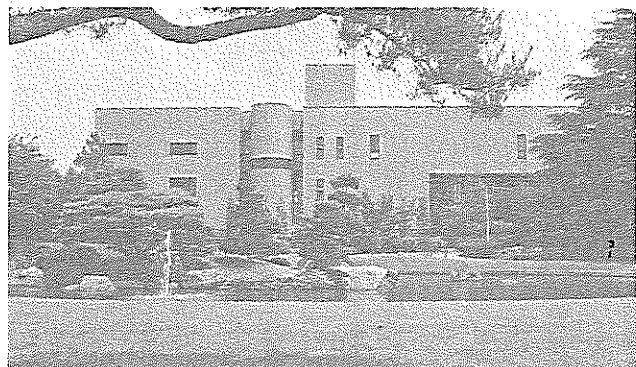
一日司書としての体験を通して、図書館への理解を深め、興味・関心を増してもらうことを目的としています。

内容は、図書館のしくみや役割についての簡単な説明、図書館内の見学、そして、実際に一般開架室と児童室のカウンターについて貸出・返却などを体験してもらう予定です。

なお、一日司書の募集については、後日、広報紙等でお知らせします。図書館や本に興味のある、元気な小学生の参加を、お待ちしております。

◎図書館クイズ

図書館では、うつのみや生涯学習だより・第7号(7月19日発行)に図書館クイズを掲載いたします。クイズの内容は、宇都宮市立図書館の場所や開館時間・おはなし会、図書館で貸出す資料や視聴覚ライ



ブラリー、移動図書館車などについての設問10問で、全問正解者には記念品を差し上げます。なお、正解者多数の場合には、抽選で120名様に限らせていただきます。官製はがきで一人一枚ご応募ください。夏休みを利用して、家族でクイズに挑戦し、宇都宮市立図書館に対する理解を深めていただけましたら幸いです。

◎色紙展

図書館開館以来、毎年いくつかの講座、講演会を開催していますが、その講師の方々に、記念とし

て色紙を書いていただいています。現在、約100枚ほどありますが、それらを10周年を機に公開することになりました。

期間は8月から9月末まで。展示会場は未定です。

◎記念式典及び講演会

11月3日(日)、文化会館で記念式典と文化講演会を開催いたします。詳しくは後ほど広報うつのみや等でお知らせします。

◎映画会

11月3日(日)、同じく文化会館で講演会に引き続き行います。

十周年を迎えて

宇都宮市立図書館館長



宇都宮市立図書館は昭和56年7

月に開館し、今年度で10周年を迎えることになりました。図書館を利用されている方々、図書館事業を支えているボランティア、読書関係団体、関係機関の皆様にご心から感謝申し上げます。

近年、生涯学習への関心が高まる中で、図書館は調査研究、学習の場としてますますその重要性を増してきております。図書館では「市民のための開かれた図書館」を目標に努力しており、この10年間順調に進展してまいりました。登録者の数も年々一万人位づつ増え、現在では15万人を越え、市民の35%以上が図書館を利用していることになっております。

今後一人でも多く利用していただき、一冊でも多く借りていただけるよう「市民に愛され、利用される図書館」として努力してまいりますので、皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

第7回「うつのみやこども賞」

授賞式及び受賞記念講演会

去る5月13日(日)、第7回「うつのみやこども賞」授賞式及び、受賞記念講演会が開かれました。

まず、前年度の選定委員15名(一人欠席)の代表、小林澄江さん(富士見小6年)と山村典生くん(昭和小6年)から、受賞作『クヌギ林のザワザワ荘』の作者である富安陽子先生に、表彰状と花束の贈呈がありました。

先生と握手をした後、今度は、宇都宮子どもの本連絡会会長と図書館館長より選定委員へ、感謝状と記念品の贈呈を行いました。

最後に富安先生を囲んでの記念撮影を行い、授賞式は無事終了しました。

続きまして、受賞記念講演会に移りました。

富安先生は、受賞作が本格的長編としては2作目とのこと。その



作品が子どもたちに選ばれたという事で、感激一杯といった面持ちでお話してくださいました。

講演の内容は『クヌギ林のザワザワ荘』がどうやってできたのか、という事と、

物語りの中に出てくるような妖怪をどうしてこんなに好きなのか、ということ、それらを物語り同様の優しい口調で語られました。

この物語りは10年程前から先生の心の中に生まれており、それは全然具体的なものではなかったが、3年前に現実化したとのこと。主人公の矢嶋先生は近所の歯医者さんの名前をいただいたそうです。

それと登場人物の妖怪たちは、古来から言い伝えられている妖怪を先生なりにアレンジしてできあがったそうです。その妖怪たちの住むアパートに人間が越えてきて、一緒に住むようになったらどんなにか楽しいだろう、と考えたのが物語を作るきっかけとなったようです。

では、何故妖怪なのか。先生にとつて、妖怪もしくは不思議な出来事というのは、身近なことだったそうです。おばあちゃんから聞いたタヌキの話。おばあさんにだまされて、本当におもちが空から降ってきたと信じていたこと。それらは先生にとって不思議な体験であると同時に、起こってもあたりまえに思えるほど、すんなり心の中に入り込んでいたそうです。

「うつのみやこども賞」が

模様変えしました

「うつのみやこども賞」も、今年度で8回目を迎えました。これまで月2回、20人前後の選定委員が図書館に集まり、選定会議を開いていましたが、今年度からやり方を一新しました。選定方法は次

また、住んでいたところが非常に緑豊かだったことも、作品に影響しています。小学生の頃から10年間ぐらい住んでいた所が作品の舞台となっていて、これからもそこを舞台にしたものを描きたいとおっしゃっていました。

ところで、現在は新しい物が次々とできて、古い物を長く大事に使うことが減ってきています。それに伴って、古い物にまつわる妖怪話なども、どんどん非日常化に忘れられてしまう存在になりつつあることを先生は指摘され、忘れられないようにするために、妖怪の話を書きたい、とおっしゃっていました。

講演自体は1時間と短かったのですが、和やかな雰囲気の中で終了し、先生も子どもたちも大変満足した様子でした。

のとおり。

▽選定会議：月1回、日曜日、午後1時30分～(約1時間半)

▽選定方法：各自が持ち帰った対象本を読み、図書審査票に感想と評価を記入する。評価は5段階で、得点数の高いものを選定会議にかけ、月の本を決定する。原則として、全員が選定会議までに全ての対象本を読んでおくこと。

このように、やり方を変えた一番大きな理由は、子どもたちがあまりじっくり本を読めない、ということ。家に持ち帰れる本は一人につき2、3冊で、その他は選定会議中の5分間程度の回し読みでその本を判断するわけです。読む力のついてきた子どもでも、冒頭を読んだ印象だけでその本を拒否してしまったりすることもしばしばありました。そこを改善できれば、と思っていますが、本の交換方法などの問題点も残っています。(人数分本を用意できない都合上)

とにかく、良い形で定着するよう、今年度は試行錯誤を繰り返していこうと考えています。

点訳奉仕員養成講座

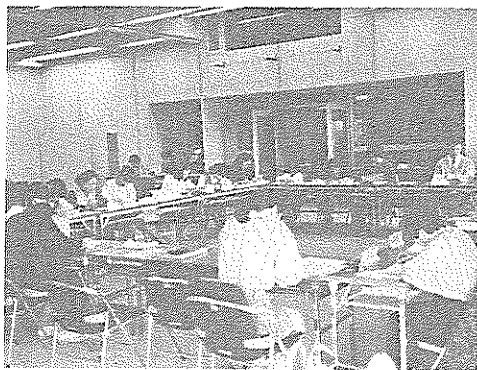
6月4日からスタート

6月4日(火)から30回にわたって点訳奉仕員養成講座を開きます。

この講座は、視覚障害者のための点字図書づくりをしていただく奉仕員を養成するもので、今回で6回目になります。現在、視覚障害

者の方々の点字図書に対する要求は、高度化・専門化しており、熱心で優秀な点訳者が少しでもたくさん育ってくれることを願って5月28日に説明会を行いました。

30回の講座は点字の読み方から始まり、点字の書き方、わかち書き、巻数のまとめ方などを学んだ後、児童書の点訳本一冊を作成して修了となります。受講者の皆さんのご健闘をお祈りします。



「点字・声の図書目録」を無料で差し上げています。お知り合いの目の不自由な方で、まだご存知ない方がいらつしやいましたら、お

知らせください。

図書の貸出はお電話で申込を受け、無料で郵送しております。

郷土コーナー

ふるさとの本を紹介

『角川日本地名大辞典9・栃木』

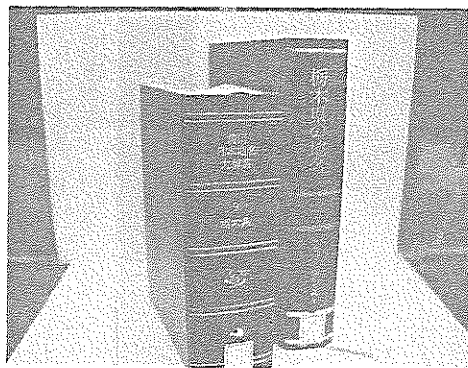
『角川日本地名大辞典』編集委員会編・角川書店発行

一九八四年・八、八〇〇円

この辞典は、全国都道府県別に発行されたうちの一冊ですが、郷土の地名辞典としては最も使いやすい資料のひとつです。

内容は、(総説)(地名編)(地誌編)(資料編)の四部構成です。中でも(地名編)は、古代から現代に至るまでの村名や町名など行政地名と、山・川・峠などの自然地名、それに道路・橋・寺・神社などの人文地名が、すべて五十音順に配列され、詳しい解説があり、地名の歴史の変遷もよくわかるようになっています。

(地誌編)では、県内の市町村別に、現行行政地名ごとに解説がつけられ、人口や文化施設、商店街のようすなど現状が記されています。また、(資料編)「小字一覧」が町村合併前の小字を知る上で貴



重な資料であるほか、「国郡、藩県沿革表」「栃木県参考図書目録」などで編成されています。

このように、時代や地域を網羅してあらゆる方面からアクセスできるのがこの辞典の特徴です。

郷土の地名辞典として『栃木県の地名(日本歴史地名大系9・平凡社発行)』もあります。こちらは、近世村名と遺跡名について専門的な解説をつけたもので、歴史地名辞典として有用です。

曝(バク)書について

●特別整理期間

五月十四日から二十三日までの十日間にわたり、特別整理期間のため休館させていただきます。利用者の皆様には大変御迷惑をおかけしました。

特別整理期間は毎年一回利用者の少ない時期を利用し、蔵書点検をはじめ日頃出来ないような作業をします。蔵書点検は曝書(バクシヨ)本来古書の虫干しであったが、現在では蔵書点検の代名詞と

もなっている。とも呼ばれ、所蔵資料を図書台帳と照合して、所在を確認する蔵書管理のための作業です。

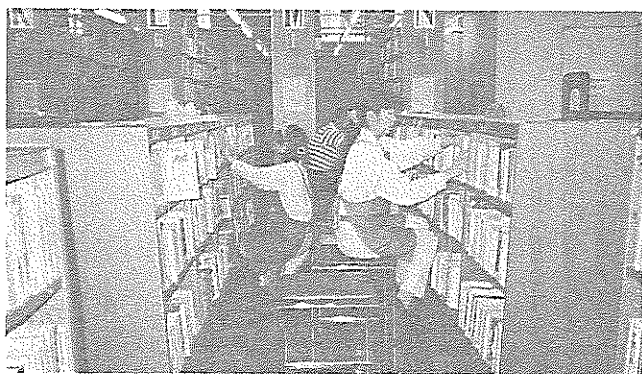
現在、当館の蔵書数は、五十四万冊にのぼり、電算を利用して点検・確認の作業を行っています。なお、一般開架室、児童図書室の模様替えもありましたので、皆様のより一層の御利用をお待ちしております。

目 安 箱

問 二階閲覧室の社会人席を増やしてほしい。

答 現在社会人席は16席設けてあります。これは日曜日など非常に混雑している時に最低限確保してあるもので、空いている場合は社会人席にとられず自由に座ってください。混雑している場合は、学生席の方も不足の状態ですので互いに譲り合い利用するようにしましょう。

利用者の皆様にお願ひ
閲覧室利用の際は『雑談禁止』です。私語は慎んでください。



第5回 落語会

この落語会は、テープに録音し視覚障害者の皆さんに郵送貸出をするためのものです。寄席の雰囲気づくりのためには、あなたの笑い声が一番です。ぜひ、おでかけください。

▽日時 7月20日(土)午後3時～5時

▽会場 市立図書館3階集会室

▽協力 のんき亭喜楽

▽入場料 無料

詳しくは、市立図書館

360231へ。

生涯学習の時代を迎えて、さまざまな学問分野の第一線で活躍を

講座・学問の窓

「ゆめのキャラバン」をご存知ですか？

市立図書館では、市民の地理的、生活的环境条件等の格差の改善を図るために、キャラバン隊の派遣を行っています。この派遣事業を「ゆめのキャラバン」と称し、今年度で7年目を迎えました。

図書館の派遣事業としてすっかり定着した感がありますが、まだご存知ない方も多くいらっしゃると思います。そこで、前年度の派

されている研究者の方々に語っていただきます。

▽日時 (1)平成3年7月14日(日)

(2) 7月21日(日)

(3) 7月28日(日)

時間は3日間とも同じ

午後1時30分～3時30分

▽場所 市立図書館3階集会室

▽テーマ 「言語と文化」とくに英語と日本語について考える」

▽講師 茨城大学教授 石川 衛三氏

▽対象 一般市民

(3日間通して受講できる方に限らせていただきます)

▽受講料 無料です。

▽申込 6月26日(水)午前9時30分

から。電話か直接に市立図書館へ

電話 360231

遺状況と、派遣先に実施したアンケート結果の一部をご紹介します。これを参考に、学校のおたのしみ会や、地域の親睦会にご利用なさってみてはいかがでしょうか。

※派遣先……桜地区、子雀子供会、上横田保育園ほか10団体。

※派遣団体……おはなしキャラバン「つばみ座」(代表・花岡寛)

「ゆめのキャラバン」に関するお問い合わせは、館外奉仕課・塚原まで。(360231) また活躍の場を求めている人形劇団がありましたらご連絡ください。

ボランティアのみなさん
ありがとうございます

点字・声の図書製作
状況(3年3・4月)

▽点字図書「江戸川

柳を築しむ」ほか6タ

イトル16冊。

▽声の図書「フーシ

エ革命暦」、「真夜中は

別の顔」ほか18タイト

ル109巻。

郵送貸出利用状況(3・4月)

▽点字図書 8人 31冊

▽声の図書 40人 40冊

▽雑誌 38人 448巻

▽墨字本 666人 1073巻

17人 79冊

寄贈

野木町立図書館(句集四季の俳

句心の花束随筆教室作品集、富永

太一(下野の民話、細矢藤策(古代

英雄文学と鍛冶族、小林芳夫(日

本のロビンフッド那須与一は生き

ている、日本赤十字社栃木県支部

(赤十字栃木百年のあゆみ、星忠

直(黒磯市の植物、白井清松(し

もつけ植物記、植野樹郎(小山児

童合唱団20ねんのあゆみ、塩原町

立塩原中学校(私達の塩原、篠原

佐千江(久遠、植田俊夫(野州流

派剣術の研究、姫路市立城郭研究

室(城郭関係図書所在一覧、木村

光雄(行餘芸談、他多数。

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は

午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居

レコード・CD

ビデオ・16ミリフィルム

5点 5点 5冊

○講座の問合せ・申込み

電話または直接図書館へ

電話(36)0231

貸出状況

区 分	3年3月	3年4月
登 録 者 数	152,942人	153,597人
貸 出 人 数	館 内 17,991人	14,449人
	館 外 2,032	1,998
	中央公民館 718	708
	雀宮公民館 1,127	1,039
	合 計 21,868	18,194
貸 出 冊 数	館 内 60,247冊	47,957冊
	館 外 8,652	7,574
	中央公民館 2,344	2,324
	雀宮公民館 4,513	4,064
	合 計 75,756	61,919

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	28
29	30					

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	28
29	30	31				